



海外で増加する 蚊媒介ウイルス感染症

感染症発生動向速報

(令和元年第 35 週分・8 月 26 日～9 月 1 日)

《 インフォメーション 》

●蚊媒介ウイルス感染症

ジカウイルス感染症、チクングニア熱、デング熱は、蚊の刺咬によって媒介される急性ウイルス感染症です。2014 年にはデング熱の国内感染例が報告されましたが、2015 年以降は海外の流行地域で感染した症例のみが報告されています。

全国における今年のチクングニア熱、デング熱の報告数は第 34 週(8 月 19 日～25 日)時点でそれぞれ 21 人、262

人となり、既に昨年の報告数を大きく上回っています(表参照)。チクングニア熱については、今年 6 月以降、ミャンマーを感染地域とする輸入症例が多く報告されています。デング熱については、フィリピン等の東南アジアにおいて、患者数の増加が報告されています。県内における今年の主な蚊媒介ウイルス感染症の患者報告数は、第 34 週に報告されたデング熱 1 症例のみとなっていますが、医療機関では、今後、新たな患者発生に注意が必要です。

ジカウイルス感染症、チクングニア熱、デング熱は、ともに、アジア、中南米を中心に流行している、発熱と全身の皮疹を特徴とする感染症です。デング熱とチクングニア熱については、いずれも日本国内に広く分布するヒトスジシマカが媒介することが知られています。

ジカウイルス感染症、チクングニア熱、デング熱に有効かつ安全性の高いワクチンはありません。これらの蚊媒介ウイルス感染症が流行する地域へ渡航、滞在される方は、蚊に刺されないよう、“可能な限りしっかりと網戸が取り付けられているか、エアコンが備わっているホテル等に滞在する”、“長袖のシャツ、ズボンを着て、出来るだけ皮膚の露出部を少なくする”、“屋外に出かける場合は虫よけ剤を皮膚の露出部に付ける”といった対策をとるとともに、今後の情報に注意しましょう。帰国後に症状が出た際は、医療機関を受診する前に、あらかじめ電話で症状と渡航歴を伝え、医療機関の指示に従い、出来る限り早く受診しましょう。

(蚊媒介感染症の診療ガイドライン参照:https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/dengue/Mosquito_Mediated_190207-5.pdf)

《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 1 件 (80 歳代、男性)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2 件 (①第 34 週診断分：20 歳代、女性、O157,VT2
②30 歳代、女性、O 型不明、VT1VT2)

四類感染症 レジオネラ症 3 件 (①40 歳代 ②50 歳代 ③70 歳代 ①～③全て男性、肺炎型)

五類感染症 後天性免疫不全症候群 1 件 (第 34 週診断分：40 歳代、男性、A I D S)

百日咳 5 件 (①第 34 週診断分：10 歳未満、男性 ②10 歳未満、女性
③④共に 10 歳代、男性 ⑤10 歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1 位	感染性胃腸炎	2.90 (↓)	2.93
2 位	R S ウイルス感染症	2.48 (↑)	0.83
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.24 (↓)	1.34
4 位	伝染性紅斑	1.17 (↑)	1.14
5 位	手足口病	0.69 (↓)	1.10
6 位	ヘルパンギーナ	0.62 (↑)	0.59

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

令和元年 9 月 4 日

富山県感染症情報センター

(0766-56-5431 直通)

(0766-56-8142 細菌部)

(0766-56-8143 ウイルス部)

主な蚊媒介ウイルス感染症の患者報告数

全国	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年*
ジカウイルス感染症			12	5	0	0
チクングニア熱	16	17	14	5	4	21
デング熱	341 (国内感染例:182例)	293	342	245	201	262

富山県	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年*
ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
チクングニア熱	0	0	0	0	0	0
デング熱	0	1	2	3	3	1

*2019年は第 34 週(8 月 19 日～25 日)までのデータ

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第35週 令和元年8月26日～令和元年9月1日）

分類	疾患	今週報告分（第35週）						累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核		1				1	20	10	37	24	34	125	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1			1		1	5	4	7	17	
四類感染症	E型肝炎							3		1			4	
	A型肝炎							1					1	
	つつが虫病							1					1	
	デング熱											1	1	
	レジオネラ症			2		1	3	2		13	7	14	36	
五類感染症	アメーバ赤痢											3	3	
	ウイルス性肝炎									1			1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									4	1	2	7	
	急性弛緩性麻痺									1			1	
	急性脳炎											2	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2	3	6	11	
	後天性免疫不全症候群											6	6	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	2	2	5	
	侵襲性肺炎球菌感染症									8	8	8	24	
	水痘（入院例）							1	2			5	8	
	梅毒									2	1	13	16	
	播種性クリプトコックス症											1	1	
	破傷風									1			1	
	百日咳			1	1	2	4	1	5	66	53	94	219	
	風しん								1			3	4	
	麻しん									1	2		3	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ		1			7	8	1,427	920	3,154	1,691	3,692	10,884
				0.20			0.44	0.17						
RSウイルス感染症			8	17	13	34	72	15	55	108	47	243	468	
			2.67	2.13	3.25	3.40	2.48							
咽頭結膜熱		3	1			2	6	158	22	228	50	182	640	
		0.75	0.33			0.20	0.21							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	2	21	2	10	36	109	114	573	240	976	2,012	
		0.25	0.67	2.63	0.50	1.00	1.24							
感染性胃腸炎		12	17	18	7	30	84	980	782	1,233	468	2,919	6,382	
		3.00	5.67	2.25	1.75	3.00	2.90							
水痘			2	1		1	4	19	19	45	11	234	328	
			0.67	0.13		0.10	0.14							
手足口病		8	2	3		7	20	173	220	1,017	263	1,142	2,815	
		2.00	0.67	0.38		0.70	0.69							
伝染性紅斑		4	2	5	5	18	34	115	59	419	113	510	1,216	
		1.00	0.67	0.63	1.25	1.80	1.17							
突発性発しん		1		4	1	4	10	26	30	159	35	141	391	
		0.25		0.50	0.25	0.40	0.34							
ヘルパンギーナ				5	1	12	18	119	99	233	59	212	722	
				0.63	0.25	1.20	0.62							
流行性耳下腺炎		1					1	4	7	8	1	20	40	
		0.25					0.03							
急性出血性結膜炎											12		12	
流行性角結膜炎							1	9	29	28	7	74		
細菌性髄膜炎											4	4		
無菌性髄膜炎							2				1	3		
マイコプラズマ肺炎								6	2			8		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							1		8	7	2	18		
インフルエンザによる入院患者（*）								42	42	52	98	102	336	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。